

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 平成 26 年度(2014 年度)事業計画

公益財団法人ジェスク音楽文化振興会 事業一覧

- 公益目的事業 1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業
- 公益目的事業 2 音楽会を企画制作する事業
- 公益目的事業 3 講習会を企画制作する事業
- 公益目的事業 4 演奏家を育成し、活動を助成、マネージメントする事業
- 公益目的事業 5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

当財団の平成 25 年度(2013 年度)は、霧島国際音楽祭の 14 年ぶりの東京公演、国際音楽祭 NIPPON 第 2 回目の開催など、事業内容としては充実した年度であった。

平成 26 年度(2014 年度)は、例年の事業の他に当財団として初の海外での主催公演である霧島国際音楽祭 台北公演も予定されている。その一方で前年度までの事業の中で規模の大きな 2 事業が終了となり、事業数が少なく予算規模も平成 25 年度より縮小の年度となる。平成 26 年予定の事業の一覧は下記の通り。

前年度との公演の比較

	平成 25 年度(2013 年度)	平成 26 年度(2014 年度)	開催時期
公1	霧島国際音楽祭	霧島国際音楽祭	7/15~8/3
公2	霧島市民音楽祭	→終了	
	みやまふれあいコンサートほか関連事業	みやまふれあいコンサート	7月中旬・下旬
		霧島国際音楽祭 佐世保公演	7/26
	霧島国際音楽祭 東京公演		
	霧島国際音楽祭 海外公演の準備・調整	霧島国際音楽祭 台北公演	8/4~8/7
		日本・スイス国交樹立150周年記念オペラ	8/27
	仙台クラシック・フェスティバル(せんくら)	仙台クラシック・フェスティバル(せんくら)	10/4~10/6
	ル・ポン 赤穂・姫路国際音楽祭	ル・ポン 赤穂・姫路国際音楽祭	10 月上旬・中旬
	みやざきザハール・ブロン音楽祭	→終了	
	国際音楽祭 NIPPON	→終了	
公3	仙台国際コンクール審査委員マスタークラス		
	芸術家への道	芸術家への道	8/4~8/7
	浜松国際ピアノアカデミー	浜松国際ピアノアカデミー	3/6~3/15
	かさま国際音楽アカデミー	かさま国際音楽アカデミー	3/21~3/30
		ザハール・ブロン マスタークラス	未定
公4	四方恭子	四方恭子	通年
	田中雅弘	田中雅弘	通年
	横川晴児	横川晴児	通年
	青柳晋	青柳晋	通年
	イリーナ・メジューエワ	神田将公演マネージメント	通年
	中園理沙	中園理沙	通年
	ザハール・ブロン	ザハール・ブロン	通年
公5	楽譜出版事業	楽譜出版事業	通年
合計	21 公演	19 公演	

公益目的事業1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業

第35回霧島国際音楽祭

《概要》	主催： 鹿児島県、ジェスク音楽文化振興会、鹿児島県文化振興財団 日程： 2014年7月16日(水)～8月3日(日) 会場： 霧島市 みやまコンセール(霧島国際音楽ホール) ほか
《事業内容》	講習会(マスタークラス)： 9コース/13クラス 演奏会： 約55公演 (うち主な有料公演16公演。ほかアウトリーチ、ワークショップ、吹奏楽クリニック、ロビーコンサート、足湯コンサートなど約39公演を実施予定。) 講師・アーティスト： 約75人 受講生： 約160人

1980年に名誉音楽監督 故 G. ボッセ氏を中心に立ち上げられた音楽祭。1984年ジェスクが設立され、85年から主催。日本有数の歴史を誇り、現在、堤剛音楽監督のもと、鹿児島県の全面的なバックアップを得て、レベルの高い講習会はアジアを中心に海外からの受講生を集め、数々のコンサートやアウトリーチは、充実した内容の音楽祭として観客も増加するなど注目を集めている。

2009年第30回より「世界への発信」、「地元密着」、「フェスティバル性」の3つのキーワードを柱に据え、さらなる芸術的な発展、財政的成功を目指して開催されている。

2013年、14年ぶりとなる東京公演を実施し大成功を収めた。

当年度は音楽祭初となる海外公演を台北で実施する。(公益目的事業2「台北公演」参照。)

1. 演奏会について

① みやまコンセールでの公演：

みやまコンセールでの最初のコンサート「スペシャル・ガラ・コンサート」は、高関健指揮、鹿児島交響楽団と音楽祭講師陣がそれぞれ協奏曲を演奏するガラ・コンサート。室内楽を中心とした「音楽の散歩」シリーズは、45分のプロデュース・コンサート4公演に加え、初参加のE. ヴィルサラーゼ氏や、K. ヤブウォンスキ氏のピアノリサイタル。若きソリスト川久保賜紀、成田達輝、両氏それぞれによる特別なプロデュース公演も予定。このほか、例年同様「ファイナル・コンサート」、優秀な受講生による「霧島国際音楽祭賞受賞者ガラ・コンサート」、「室内楽クラス・コンサート」などを実施する。

② 鹿児島市内での公演：

みやまコンセールでの開催が定着してきた「音楽の散歩」シリーズを、初めて鹿児島市内で実施する。かごしま県民交流センターを会場とし、「0歳児からのコンサート」からMBCユースオーケストラによる公演まで、バリエーションに富んだ1日4公演を行う。恒例の「ザビエル教会コンサート」は、メゾソプラノの林美智子、チェロの趙静、ギターの大萩康司が出演。

「宝山ホール公演」は、昨年オペラシティでも絶賛を浴びたキリシマ祝祭管弦楽団、下野竜也氏によるベートーヴェン・チクルス第6弾、『田園』と堤剛音楽監督らをソリストに三重協奏曲を演奏。同プログラムをもって初の海外となる台北公演を行う。そのほか「鹿児島市民文化ホール公演」、初の試みとして長島美術館で世界の名画を前にプレミアム・コンサートを行う。

③ 霧島市内での公演 (国分隼人地域への重点強化)：

霧島市民会館公演は、2年前に開催し大きな反響を得た「管の祭典」を行う。音楽祭アーティストと地元の中高生が当公演のために特別編成する吹奏楽団を下野竜也氏が指揮する公演。この他、下野竜也氏による吹奏楽クリニックなどを行う。

④ その他の公演：

毎年好評の「霧島神宮かがり火コンサート」、隣接する始良市加音ホールで初のコンサート、「湧水町いきいきセンターくりの郷」、「縄文の森」、「鹿児島空港エアポート・コンサート」、霧島、鹿児島市で下野竜也氏の「吹奏楽クリニック」、など多彩なワークショップなどを行う。

2. 講習会(マスタークラス)について

音楽祭の理念「自立できる音楽家の養成」に従い、独奏、室内楽、オーケストラ演奏の体験と技術の習得はもとより講師・アーティストと受講生が一体となった全人格的な成長を目指すカリキュラムを組む。またピアノ講師として世界的ピアニストで教育者でもあるエリソ・ヴィルサラゼ氏を初めて迎える。受講生数は前回の136名を上回る、海外受講生も含め165名を目標に募集を行う。

●開設マスタークラス

コース	マスタークラス講師
ヴァイオリン (3)	藤原 浜雄 (元読売日本交響楽団ソロ・コンサートマスター) ダニエル・ゲーデ (元ウィーンフィル・コンマス、ニュルンベルク音楽大学教授) ローター・シュトラウス (ベルリン国立歌劇場管第一コンサートマスター)
ヴィオラ	店村 眞積 (東京都交響楽団特任首席奏者)
チェロ	堤 剛 (当音楽祭音楽監督、桐朋学園大学特任教授) バク・キュンゴク (ハニャン大学校音楽大学主任教授)
ピアノ (3)	エリソ・ヴィルサラゼ (モスクワ音楽院教授) クシシュトフ・ヤブウォンスキ (ショパン・コンクール第3位、ショパン音楽院教授) 練木 繁夫 (インディアナ大学教授)
フルート	ポール・エドモンド=デイヴィス (ロンドン・フィル首席)
トランペット	高橋 敦 (東京都交響楽団首席、洗足学園大学准教授)
ホルン	西條 貴人 (東京都交響楽団首席、東京芸術大学講師)
室内楽	松原 勝也 (東京芸術大学教授) 田中 雅弘 (東京都交響楽団首席、第1回音楽祭受講生) ほか音楽祭アーティストがレッスンに参加
指揮	高関 健 (東京芸術大学招聘教授) 下野 竜也 (読売日本交響楽団正指揮者、上野学園大学教授)

各クラス10～15名程度。室内楽は団体での申し込みも可。

特 別 レッスン	松原勝也、田中雅弘	室内楽	希望者
	小森谷 巧	オーケストラ・スタディ	希望者 (ヴァイオリン)
	ポール・エドモンド=デイヴィス	オーケストラ・スタディ	希望者 (フルート)
	高橋 敦	オーケストラ・スタディ	希望者 (トランペット)
	西條 貴人	オーケストラ・スタディ	希望者 (ホルン)

公益目的事業2 音楽会を企画制作する事業

みやまふれあいコンサート

《概要》	主催：	鹿児島県文化振興財団、各開催地主催者
	日程：	2014年7月中旬～下旬
	会場：	鹿児島県内各地ホール、施設

みやまコンセールが、鹿児島県内各地の主催者と共催し、各地の音楽普及に貢献するために実施している事業。例年、霧島国際音楽祭の出演者が演奏会を行うほか、学校や施設での普及活動も行う。公演日程は調整中。

第35回霧島国際音楽祭 佐世保公演

《概要》	主催：	アルカス SASEBO
	日程：	2014年7月26日(土)
	会場：	アルカス SASEBO 中ホール

長崎県佐世保市のアルカス SASEBO からの依頼により、音楽祭の公演を行う。九州内での音楽祭訴求を目的とする連携事業。霧島国際音楽祭の名物チェロアンサンブルで、音楽監督の堤剛氏を中心とする5人のチェリストが期間中に佐世保を訪れコンサートを行う。

第35回霧島国際音楽祭 台北公演

《概要》	主催：	鹿児島県、ジュスク音楽文化振興会、鹿児島県文化振興財団 善果藝術(Artemis)
	日程：	2014年8月6日(水)
	会場：	中正文化センター 台北ナショナル・コンサート・ホール

霧島国際音楽祭を鹿児島県外に広く認知させるために、2013年の東京公演に続き、台湾・台北市で公演を行う。出演は下野竜也氏指揮キリシマ祝祭管弦楽団で、堤剛音楽監督、ダニエル・ゲーデ氏、クシシュトフ・ヤブウォンスキ氏ソリストによるベートーヴェン：三重協奏曲と、ベートーヴェン：交響曲「田園」を演奏する。

日本・スイス国交樹立150周年記念オペラ 霧島公演

《概要》	主催：	日本スイス友好150周年記念オペラ実行委員会
	日程：	2014年8月27日(水)
	会場：	みやまコンセール

日本・スイス国交樹立150周年を記念したスイス人音楽家ハイジ・ニーマンの霧島を題材にしたオペラの霧島公演の開催にあたり、広報・宣伝のマネジメント業務を行う。

第9回 仙台クラシック・フェスティバル（せんくら）2014

《概要》	主催：	仙台市、仙台市市民文化事業団
	日程：	2014年10月3日(金)～10月5日(日)
	会場：	仙台市青年文化文化センター、イズミティ 21 ほか

仙台クラシックフェスティバル（通称せんくら）は2006年に始まり、第4回から震災時の第6回を経て第8回まで制作業務を行う。仙台市より2014年度第9回から3年間の制作業務の入札を経て向こう3年間（9回～11回）を受託。

朝から晩まで複数会場で同時並行的に45分間（2会場のみ60分）のコンサートが3日間繰り広げられる。演奏者は地元仙台フィルのほか、旬の若手やビッグネームがずらりと並び、入場料が1コマ ¥1,000～2,000円の低料金で気軽にクラシックの名曲を楽しんでいただくコンセプト。

第9回は小山実稚恵、舘野泉、小川典子、川島成道、横山幸雄、三船優子、川久保賜紀、長谷川陽子、福田進一ら常連組に加え、中村紘子、仲道郁代、牛田智大、熊本マリ、山崎伸子など新しい豪華な顔ぶれや仙台コンクール歴代優勝者ら。注目の指揮者、山田和樹も参加する。

ル・ポン2014 姫路国際音楽祭・赤穂国際音楽祭

《概要》	主催：	姫路国際音楽祭実行委員会、赤穂国際音楽祭実行委員会
	日程：	2014年10月中旬
	会場：	赤穂市文化会館、姫路パルナソスホール ほか

ベルリン・フィル第一コンサートマスターの榎本大進氏を音楽監督とし、縁のある兵庫県赤穂市で2007年に第1回を開催以後、姫路市と隔年で開催、2012年からは両市の共催で開催されている。榎本氏と親交のある世界第一級の演奏家を招き、最高峰の質を誇る室内楽を中心としたプログラムで公演を行う。このうちいくつかの公演は、姫路城二の丸、書写山圓教寺などの観光史跡での屋外コンサートとして開催される。制作業務を受託する予定。

公益目的事業3 講習会を企画制作する事業

芸術家への道

《概要》	主催：	鹿児島県（実施主体：鹿児島県文化振興財団 みやまコンセール）
	日程：	2014年8月4日(月)～8月7日(木)
	会場：	みやまコンセール

霧島国際音楽祭の受講生の国際化と水準が高まる中、音楽祭の主催の一つである鹿児島県からの要望で鹿児島の音楽文化の将来を担う人材育成のために実施する事業。当年度はヴァイオリン、ピアノの2つのクラスを実施する。

第19回浜松国際ピアノアカデミー

《概要》	主催：	浜松市、浜松市教育委員会、浜松市文化振興財団
	日程：	2015年3月6日(金)～3月16日(日)
	会場：	浜松市アクトシティ音楽院 ほか

中村紘子音楽監督のもと、若き精鋭が世界から集う国内屈指のアカデミー。世界に通用するコンサートピアニストの育成を目的としたカリキュラムを展開。音楽監督を含む教授陣4名、受講生24名規模での開催。教授陣による公開レッスン、レクチャーコンサートシリーズ、受講生達が実際の国際コンクールの環境を実体験できるアカデミーコンクールなども行う。

第11回かさま国際音楽アカデミー

《概要》	主催：	かさま国際音楽アカデミー実行委員会
	日程：	2015年3月21日(土)～3月30日(月)
	会場：	茨城県教育研修センター、笠間市笠間公民館

フランスの「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」の日本版として、2005年から茨城県の笠間市で開催。本国アカデミーの開催地移転による名称変更を機会に、今年2014年より『かさま国際アカデミー』の名称に変更された。地域に密着したアカデミーとしての開催を目指している。桐朋学園大学副学長・教授 辰巳明子音楽監督のもと、ザハール・ブロン氏（ヴァイオリン）を始めとする国内外の教授を招聘。10歳から大学生まで幅広い年齢層の将来を担う逸材が多数参加する。また2014年より、従来からのコースに加え、幅広い受講者層を受け入れるために「かさまヴァイオリン・スクール」を併設した。

ザハール・ブロン マスタークラス

レーピン、ヴェンゲーロフ、榎本大進の各氏を育てた名教授によるザハール・ブロン氏のマスタークラス実施を模索する。これまで当財団では、ブロン氏のマスタークラスを横浜、東京で開催してきたが、現時点では単独のマスタークラスは行っていないことから、浜松など可能性のある行政との開催を目指す。

公益目的事業4 演奏家を育成し、活動を助成、マネージメントする事業

演奏家マネージメント

優れた演奏家の育成に努め、その活動を助成する目的により、当財団の趣旨に賛同する演奏家のマネージメント業務を実施し、才能のある若手演奏家のため、リサイタルやオーケストラとの共演の場を設ける。なお、新たな所属として、2013年6月より、東京芸術大学准教授である若手実力派ピアニストの青柳晋のマネージメントを開始しており、2014年度も引き続きマネージメントする。

所属演奏家 (2014年3月25日現在)

ザハール・ブロン [ヴァイオリン]

* ケルン音楽大学 チューリッヒ音楽院教授

四方 恭子 [ヴァイオリン]

* 元ケルン放響第一コンミス、兵庫芸術文化センター管弦楽団コンミス、東京都交響楽団ソロ・コンミス

田中 雅弘 [チェロ]

* 東京都交響楽団首席奏者、霧島国際音楽祭講師

横川 晴児 [クラリネット]

* 元NHK交響楽団首席奏者

青柳 晋 [ピアノ]

* 東京芸術大学准教授

中園 理沙 [ピアノ]

* エレーナ・リヒテル国際ピアノコンクール第1位。

自主公演マネージメント

演奏家が自身の成果を発表するために行う自主リサイタルの主催および開催協力も行う。当年度は以下の公演を予定している。

青柳 晋 ピアノ・リサイタル [2014年12月22日(月) 浜離宮朝日ホール]

神田 将 エレクトーン・リサイタル [2014年秋～冬予定]

ジェスク音楽基金 奨学金授与

かつての日本ポーランド友好音楽基金から「ジェスク音楽基金」という名称のもと、当財団の新たな音楽基金としたもので、世界の若き音楽家の育成など、音楽文化の発展のために有効に活用してゆく。昨年度に引き続き、当年度も優秀な若い音楽家への奨学金授与を行う。

公益目的事業5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版、頒布する。現在の主な刊行物は下記の通り。

ショパン／パデレフスキ版

I. プレリユード、II. エチュード、III. バラード、IV. 即興曲、V. スケルツォ、VI. ソナタ、VII. ノクターン、VIII. ポロネーズ、IX. ワルツ、X. マズルカ、XI. 幻想曲・子守歌・舟歌、XIII. 演奏会用アレグロ変奏曲、XIV. ピアノ協奏曲、XVIII. 小品集

ドヴォルジャーク

「スラヴ舞曲集作品 46 (連弾)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (連弾)」、
「スラヴ舞曲集作品 46 (スコア)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (スコア)」、
「交響曲第 8 番作品 88」、「交響曲第 9 番作品 95」、「チェロ協奏曲作品 104」

ザハール・ブロン編集・解説

「エチュードの技法」、「ヴァータン：ヴァイオリン協奏曲 第 5 番」

子供のためのピアノ曲集・ねこシリーズ

ガルシチャ「ピアノのための小品集」、「わたしと一緒に弾きましょう」
フンジャク「サーカス」
リビツキ「わたしは弾きはじめる」 他

ルー・ハリソン著 「ワールド・ミュージック入門」

寄附金の募集活動について

当財団では、財団の目的を達成するために、事業を特定しない一般寄附金を受領することができるが、これまで積極的な募集活動を行っていなかった。上述の公益目的事業を、次年度以降に引き続き円滑に実施していただくための資金確保として、本年度まずは寄附金募集のための制度設計を行い、寄附金の募集活動を開始する。

平成 26 年度の資金調達及び設備投資について

当期中の資金調達及び設備投資の見込みは下記のとおりである。

当期中における借入れの予定	なし
当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定	なし